

佐渡市女性が輝く島づくり事業【新潟県佐渡市】

地域の実情と課題

人口推移としては、毎年約800人程度が市外に流出しており、高齢化率は40%を超えている。人口減少や高齢化の進行に伴う人手・担い手不足が大きな課題であり、これらを改善する一助として、更なる女性活躍の推進が重要である。女性がさらに活躍するためには、男性の女性の社会進出への理解を促すこと、仕事と家事・育児・介護等の両立を男女がともに考える必要がある。

事業の特徴

1. 男女共同参画セミナーの開催
男性の家事・育児等への参画を推進するワークショップ型の啓発セミナーを開催した。
2. 事業所アンケートの実施
島内雇用保険適用事業所に対し、働く場における男女共同参画の推進やワーク・ライフ・バランス等に関するアンケート調査を実施した。

事業の効果

セミナーの参加者数は募集定員の30人に満たなかったが、参加者の満足度は高く、参加者アンケートでは23名中、10名が「とても参考になった」、13名が「参考になった」と回答している。事業所アンケート調査の結果、平成31年4月1日から令和2年3月31日までに配偶者が出産した男性従業員の育児休業取得率は7.4%となり、前回調査(平成29年度)の6.4%から1.0%上昇した。このことから、市民や事業所の意識が変化してきていることが見て取れる。

目的・目標

女性活躍の指標の1つである正規就業率の向上には、市民意識調査においても重要とされた「男女が性別にとらわれず、平等に働き続けることができる環境づくり」、「家事・育児・介護等への男性の協力・参画」を推進する必要がある。

目標・KPI: 女性の就業率50%(平成27年10月1日時点 48.1%)

連携団体

- 佐渡市男女共同参画推進懇談会
佐渡市女性団体連絡協議会、佐渡市保育園園長会、はぐりんず(市内子育て支援団体)、佐渡市小学校長会、佐渡商工会女性部協議会、 連合新潟佐渡地域協議会、佐渡農業協同組合

今後の課題

事業所アンケート調査の結果によると、働く場における男女共同参画推進の課題として「女性には時間外労働、深夜勤務をさせにくい」、「男性従業員が収入面での不安等から育児休業を取得しない」という回答が多く、仕事と家庭の両立支援の更なる推進が求められる結果となっている。また、自治体に期待する支援や環境整備としては、「経済的支援」、「法律や制度、活用方法等に関する情報提供」を求める声が多かった。経済的支援を含めた既存制度の活用に関する情報提供を進めていかなければならない。

事業の概要

1. 男女共同参画セミナーの開催

■ テーマ
男性の家事・育児等への参画

■ 内容

(1) 講話

- ・私の考える父親の役割
- ・家庭でもカッコいいパパになるヒント
- ・失敗体験から学ぶ子育てで大切なこと
- ・男性社員の育休取得体験談

(2) ワークショップ

- ・男性の家事・育児の参画が進まない理由とその解決策を考えよう
- ・これから自分が何をすべきか一緒に考えよう



2. 事業所アンケートの実施

■ 調査の目的

令和2年3月に第3次佐渡市男女共同参画計画を策定したことに伴い、計画初年度に市内事業所の現状を調査し、今後の男女共同参画施策を推進する基礎資料とするもの。

■ 回収結果

発送数: 市内の雇用保険適用事業所(公務関連を除く)996事業所

有効回収数: 412事業所

回収率: 41.4%

事業所アンケート調査報告書【概要版】より抜粋

II 働く場における男女共同参画の推進

取り組みにおける課題

1位 女性には時間外労働、深夜勤務をさせにくい (37.4%)

2位 男性従業員が収入面での不安等から育児休業を取得しない (18.0%)

3位 女性のための就業環境整備(トイレ・休憩室・更衣室等)にコストがかかり取り組みにくい (15.3%)

【その他の回答】

- ・「男は仕事、女は家庭」という考えの男性従業員が多い (10.2%)
- ・結婚・出産退職の習慣がある (7.8%)
- ・「男は仕事、女は家庭」という考えの女性従業員が多い (3.9%)

問7-4 働く場における男女共同参画の推進について、事業所の取組においてどのようなことが課題となりますか。(3つまで選んで○)

詳しくは報告書P. 7へ